

研究計画書

2023年12月1日

所属：リハビリテーション科

主研究者：本間智明

研究責任者：黒木一彦

共同研究者：村上嘉章、村中好美、上村浩司

研究テーマ

急性期入院病棟における転倒・転落予防策に関する調査

1. 研究の背景（動機と意義）

転倒予防策に関するシステムティックレビューでは、入院患者に対する転倒予防には多因子介入が効果的であるとされている。当院病棟における転倒予防策については転倒・転落アセスメントシートによる評価を施行した後の転倒・転落対策方法は各病棟で検討している現状である。

有効な転倒・転落の対策方法が明らかとなれば、事故減少につながり、調査する意義はあるものと考えられる。

2. 研究目的

看護師の転倒・転落対策リスクの評価方法や病棟毎の転倒・転落対策の決定方法、情報共有方法についてアンケート調査を行う。それらの方法と各病棟の転倒率との関連について考察し、院内における転倒・転落対策の有効な介入について検討したい。

3. 研究方法

1) 研究デザイン：アンケート調査（google フォーム アンケートを使用予定）

2) データ収集期間：2024年1月4日～2024年1月14日

3) 調査対象者：病棟看護師 約300名

4) データ収集方法：アンケート参照

5) データ分析方法

病棟毎に①転倒リスクの評価方法、②転倒対策の決定方法、③情報共有方法、④要望などについて集計し、転倒率との関連について検討する。

4. 倫理的配慮

当院での倫理委員会で承認を得る。また、写真使用やデータで個人が特定されないように配慮する。本研究以外ではデータは使用しない。

5. 文献

Ian D Cameon 2018 : Interventions for preventing falls in older people in care facilities and hospitals.

2023年 12月 1日

J A 広島総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	急性期入院病棟における転倒予防策に関する調査
倫理委員会承認番号	No.23-
研究の対象	JA広島総合病院 看護部
研究目的・方法	病棟に所属する看護師の転倒予防策に関してアンケート調査を行う
研究に用いる 試料・情報の種類	
外部への 試料・情報の提供	なし
個人情報の取り扱い	個人、病棟が特定されないよう配慮する
利益相反の有無	無 ( )
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 リハビリテーション科 研究責任者：本間智明 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	